

### 質問と回答について

ねりま防災カレッジ事業カリキュラム等運營業務委託の事業者募集にあたり、ご質問いただいた件について、以下のとおり、回答します。(質問順)

番号	項目	質問	回答
1	仕様書別紙1 スケジュール	外部講師のスケジュール下取りは契約前から必要か。契約後からの動き出しでスケジュール変更や講師変更が必要となった場合、調整可能か。	契約後からの動き出しで良い。依頼していくなかでスケジュールや講師都合によって調整が必要な場合は別途協議する。
2	事業全体	<ul style="list-style-type: none"><li>・直近3年くらいで本事業の課題感などあれば教えてほしい。</li><li>・来年度の課題や重点項目に据えている点があれば教えてほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・能登地震をきっかけとして興味を持った新規参加者が増えたが、そこから他の講座も受けてみよう、という広がりを作っていきたい。</li><li>・防災学習センターについて、講座の度に区報、SNS、町会回覧板等で周知を図っているが、まだまだ存在を知られてないこともあり、無興味層へのアプローチが課題と考えている。</li></ul>
3	作成要領	オンライン講座参加者へのテキストは電子媒体でメール提供等で良いのか	紙媒体で郵送すること。
4	作成要領	独自提案について200万が上限となっているが、今回の仕様書上の概算経費である2,400万の中に含まれるのか、それとも別の認識なのか。	独自提案を令和7年度に実施したい場合は、概算経費2,400万円のなかに含めること。見積書については、「独自提案ありの上限2,400万迄の見積もり」、「独自提案単体のみの上限200万円迄の見積もり」、「独自提案なしで上限2,400万迄の見積もり」の三種を用意すること。ただし、必ずしも令和7年度での実施を目的としない場合には、「独自提案単体のみの上限200万円迄の見積もり」、「独自提案なしで上限2,400万迄の見積もり」の二種を用意すること。
5	作成要領	独自提案は、三か年分考えるということか	基本は単年分。ただし、三か年計画の提案も可。
6	仕様書P10 15その他	一部の講座において、運営スタッフの一部を再委託する予定の場合「それ以外の業務」にあたるのか。また、提案時点で一部を再委託予定の場合、実施体制等にその旨を記載しても良いか。	当日の設営や受付など、運営支援にあたる業務は「それ以外の業務」にあたる。企画書へ記載して構わない。企画や講師等委託業務の主要部分にあたる業務は都度、協議を要する。

番号	項目	質問	回答
7	事業全体	令和5年度のねりま防災カレッジ事業運営会議の記録を見たい。	HP（トップページ>施設案内>防災>防災学習センター>ねりま防災カレッジ事業）より、確認すること。
8	事業全体	令和5年度の各講座集客状況を知りたい。	別紙を確認すること。